

**主婦目線で誕生
女性専用車両、バリアフリー情報も**

久野 「のりかえ便利マップ」は主婦業と並行して開発を手掛けられたと伺いました!

福井 元々発明をやっていたとして、子育て中もそれを持っていた。ずっと温めていたアイデアの一つが「のりかえ便利マップ」だったんです。乗り換えで利用した西日暮里の駅ですごく不便を感じたんです。子どもを連れてベビーカーを押していたので、エレベーターはどこかな?と。探しても階段ばかりで、エレベーターの案内もない。これってどうにかできないかなと。

久野 不便をどうにかしたい。それがきっかけだったんです。お子様が何歳のときに開発されたんですか?

福井 1歳と3歳です。土日だけ子どもを夫に預けて駅データを集めました。最初は駅全体の情報を盛り込んでいたんですが、企画を持ち込んだ雑誌社さんに「情報を絞ったほうがいい」と言われ今の形になりました。最初は雑誌に、その後システム手帳にも採用されました。

久野 巻末にリングで自分でつけられるタイプですね。(現物を見ながら)それにしても、当時のマップはすごい情報量ですね。今だったら「見づらい」とか



言われちゃいそうなのですが、印刷物はやはり……。

福井 印刷物はやはりこうなってしまうんですね。次にPCのソフトに、さらに駅に置く「アツ折」そして採用されました。そして携帯電話から見られるようになり、さらに「のりかえ便利マップ」の駅の掲示が始まりました。

久野 「のりかえ便利マップ」と聞いてイメージがわかない方でも、実物を見れば、ああ、これが!ってなりますね!

福井 近年では、様々な企業へデータ販売を始めました。Google mapで検索すると表示される乗り換え情報などはうちの会社から提供しています。

久野 ある時、Googleマップに日本的なサービスが突然導入されたと思ったんです。それもナビットさんだったんですか!

久野 最初に導入されたときの評判はいかがでした?

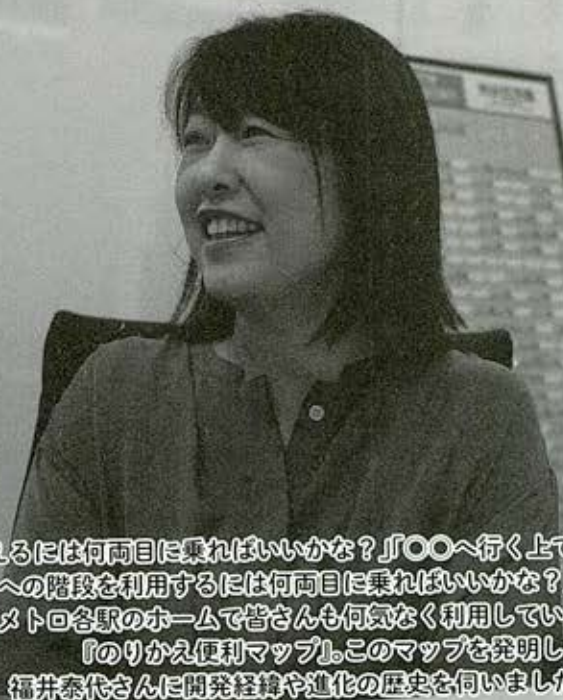
福井 東京メトロ(当時営団地下鉄)銀座線から取

東京メトロを利用したことがあれば、一度は目にしたことがあるはず。

福井 泰代さん

Yasuyo Fukui

我が人生において『のりかえ便利マップ』を超える発明は生まれない



「〇〇駅で〇〇線に乗り換えるには何両目に乗ればいいかな?」「〇〇へ行く上で、一番近い改札口への階段を利用するには何両目に乗ればいいかな?」普段、東京メトロ各駅のホームで皆さんも何気なく利用している『のりかえ便利マップ』。このマップを発明した福井泰代さんに開発経緯や進化の歴史を伺いました。

駅にある「のりかえ便利マップ」がどのように誕生したか、少し鉄道に詳しい方ならご存じだと思います! マップの制作をきっかけに会社まで立ち上げられたことから、バリキャリな感じの女性というイメージを抱いていましたが、福井さんは真逆!ほんわか柔らかなで、まるで「鉄道界の母」のよう……! 母の優しさは、便利につながる。同じ働く女性の先輩として、憧れの存在です。



PROFILE

1965年生まれ。88年成城大学経済学部を卒業後、キャンパ販売入社。91年、結婚・出産を機に退社。97年に有限会社アイデアママ設立。子育ての最中、主婦の視点を生かして『のりかえ便利マップ』を考案し、具体的な実地調査を経て完成に至る。98年に『のりかえ便利マップ』が営団地下鉄、都営地下鉄、びあなどに採用される。01年、株式会社ナビット設立。現在は同社代表取締役。
<http://www.navit-j.com/>

かつては鉄道研究会の部員が参加!
情報はすべて実地調査から

リーの情報が盛り込まれていますね。先方の担当者が変わるたびに少しずつ改良されますね。

久野 最近だどこに手が入ったのですか?

福井 綾瀬駅が新しくなりましたね。

かつては鉄道研究会の部員が参加!
情報はすべて実地調査から

久野 担当者さんが変わると多少改訂されるとおっしゃっていましたけど、各鉄道会社さんとの契約は年間契約ですか? それとも使用料契約ですか?

福井 基本的に年間契約です。年に1回か2回修正して納入する感じです。

久野 調査に時間がかかった駅とかありますか? 開発当初、この駅大変だった! とか。

福井 一番大変なのはやっぱり大手町駅や東京駅ですね。

久野 乗り入れが多いですものね。

福井 1日じゃ終わらなくて、何日かけてやらなといけません。今だったら渋谷駅かな。あそこは迷路ですよ。

久野 実地調査は、例えば駅を降りてホームで写真を撮られて、という形ですか?

福井 そう。これがその成果です。ホームのいたるところで写真を撮ってデータにします。日本全国に

いる主婦たちがデータにして送ってくれます。

久野 こうした方々はどのように募集されるのですか?

福井 実は最初は大学の鉄道研究会の学生さんをお願いしていたんです。でも、鉄道研究会の学生さんが毎年どんどん減って……。

久野 そうなんですね。私の周りには山ほどいるんだけど(笑)。

福井 それと、鉄道研究会の学生さんに、「デパ地下で行列のできる店を紹介してくれ」とお願いしても彼らは興味を持ってくれないんです(笑)。それで主婦の力を借りることにしました。

久野 どのような募集の仕方だったのですか?

福井 「実態調査員」みたいな?

福井 「駅の実地調査」ですね。最近弊社の社員が電車に乗っていたら、駅で写真を撮らばいいと撮っている女性がいって、思わず声をかけたら、やっぱりうちの調査員でした(笑)。

久野 鉄オタの可能性もありますよ!(笑)。

福井 確かに(笑)。ちなみに駅の調査目的で、弊社に全国58100人ほど登録いただいています。お子様が鉄道好き、という方もいらっしゃるので、親子で調査を手伝っていただいているケースもあるんですよ。

久野 地下鉄に乗るとき、エスカレーターを降りて



雑誌、システム手帳から始まった『のりかえ便利マップ』はいまや鉄道会社、鉄道利用者にとって欠かせないものとなった。



り入れていただいたんですが、世間的にインパクトがあったようで、「便利だ」というお声をたくさんいただきました。銀座線の評判がすごく良くて「他の路線はないのか」という声に押されて、丸ノ内線と千代田線にも導入されました。やがて全線で導入していただきました。

久野 実際に導入するにあたり、大変なことはありましたか?

福井 分散乗車を促すために工夫をされていたので、わざとファジー(あいまい)な表記をしましたね。

久野 あれは意図的なんですね!

福井 正確に表記すると、出口が7両目と4両目とかに集中したりするので、気を遣いました。同時に「もっとたくさん貼ってくれ」「のりかえ便利マップを探してホームの端から端まで歩いてみたけどどうしてくれるんだ」というご意見が入ったりするようになって、影響の大きさを感じました。

久野 だって便利ですよ!

福井 駅員さんがあれを見ながらお客さんに説明していたり、事務所の中に貼ってあったりして、役に立っているのになって嬉しくなりますね。

久野 現在のマップと、最初にノートに書き始めた頃で掲載情報は結構変わりましたか?

福井 そうですね。今は女性専用車両やバリアフ

いくとホームに着いた瞬間に、『のりかえ便利マップ』を探しますが、だいたい1番目の柱にはなくて、2番目や3番目にあるんです。あれって、どのように決まるのですか?

福井 貼る位置はメトロさんが決めています。昔は島式ホームと相対式ホームで間違えているのが結構あって、最初の頃はうちの社員が駅を回って「貼っている(のりかえ便利マップ)向きが逆です」と言っていました。今でも年に1回実地調査をしていて、全国の駅をすべて調査します。

久野 全駅ですか!? 同時に?

福井 そうですね。うちがデータを提供している957駅を全部見ます。

久野 大変!

福井 例えば新しい出口ができた、施設ができていたり、なくなっていたり、そのデータを全部集めてきてアップデイトします。

久野 例えば「ここに新しい施設ができましたよ」とか、そういう口コミ的なものもありますか!?

福井 ありますよ。まとめて反映しますけど。

久野 やっぱこのマップには載りたいですものね!

福井 新しくできる駅はどこに何ができるかっていうようなのは、開業前にCADを青焼きしたのをいただいで。それをもとにして「こういう風になりま

す」という完成予定図をお作りします。

久野 それが最終的に馴染みの形になるんですね。ちなみにテレビで駅のシーンが出てくると、探しちゃったりしますか?

福井 見てしまいますね。『世界の車窓から』が好きなので、いつか『のりかえ便利マップ』が出てきたら光栄ですよ。

久野 海外に売り込んだりはされないんですか?

福井 トライしたこともあるんですけど、あまり評価されなかったんですよ。

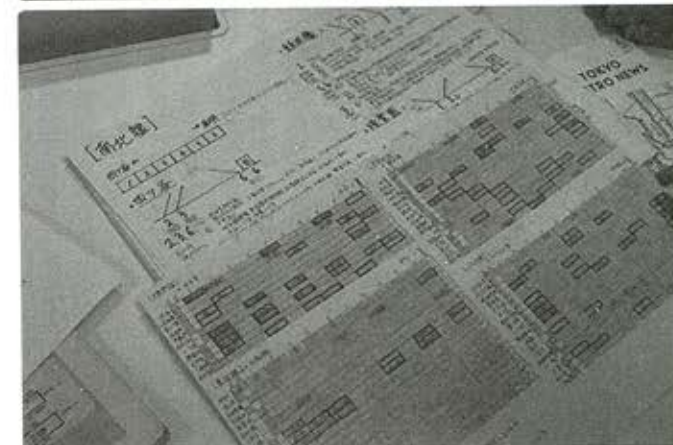
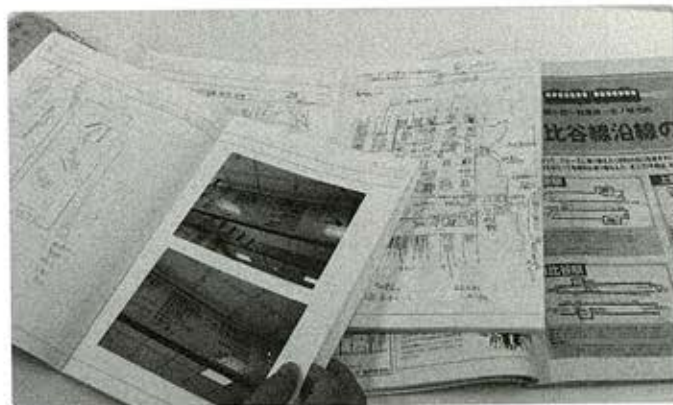
久野 あれはまさに日本的な便利さなんですかね。1秒がもったいないからわざわざ、近いところに乗るわけですね。そもそも海外は時間どおりに電車が来ないことも多いです(笑)。

元々発明が大好き
5つ目の乗り換えマップが大成

久野 社長の人生マップを作るとしたら、大きな乗り換えが29歳だったんですね。それまではどこかで働いていらしたのですか?

福井 メーカーの子会社で働いていて、それで専業主婦になって、細々と趣味で発明をやっていました。最初の発明は、お姉ちゃんの保育園に下の子どもをおんぶして連れていったときに考えました。赤

鉄道研究会の学生さんに、「デパ地下で行列のできる店を紹介してくれ」とお願いしても彼らは興味を持ってくれない(笑)



当時から手書きで地道に各駅の情報を整理。必要あれば写真も撮影して、『のりかえ便利マップ』に反映していく。

「プ」がヒットしただけで、そうでなかったらただの素人ですとやっていただきたいと思います。

久野 素人とおっしゃる福井さんですが、普段から心がけていることはありますか?

福井 やはり毎日公共交通を使うことですね。我が社ではマストでして、社員が電車・バスで通勤しています。

久野 電車が遅延したら皆一斉に遅刻しそうですね(笑)。

福井 社員旅行も必ず公共交通を使って、いつも公共交通をチェックしますね。それぞれ気がついたところや、珍しいチケット売り場なんかを写真に撮っています。

久野 ほば社員研修ですね!

福井 そうですね。私もいつも写真を撮っていますから。

久野 社長が常に率先してやってらっしゃると。福井 そうです。そうしないと情報の変化に敏感に対応できないんです。この駅がこう変わっているとか、自動販売機がなくなっている……一時期、公衆電話が一斉になくなった時期があつてそれも大き

な変化ですね。

久野 公衆電話はこの駅にもありましたよね。

福井 ええ、まだあるんですが、ほとんど減ってしまった。他にも先ほど話したように女性専用車両ができたりと、そういうトレンドがあるので常にチェックしていかないとけないんです。

久野 出張が多いのでコインロッカーのマークはいつも頼りにしています。やっぱりこのマップがあると便利です。

福井 そんなにちゃんと見ていただいて嬉しいです。

久野 この駅でもチェックしていますよ。一応女子鉄アナウンサーとしてやっていますから(笑)。

福井 そんなに電車が好きだったら、せっかくなんでうちで実地調査をやっていたらいいな。女性目線と、鉄道ファン目線を両方持った貴重な人材です。

久野 本当ですか! いくつか自分の時間ができたなら、ぜひやらせてください(笑)。



久野さんに実地調査をやっていたほしいな。女性目線と、鉄道ファン目線を両方持った貴重な人材です

ちゃんがすごい泣いてしまつて、おしやぶりを啜えさせると泣き止むんですけど、まだ生まれたばかりで、すぐ落としちゃうんです。

久野 力がないから……!

福井 なので、空気穴のところに紐を通して耳に掛ける仕組みを考えたら、知財に詳しいお母さんがいて「特許を取ってみたいら?」と言ってくださつて。そのときに特許って言葉を初めて知りました。そうやって5つ目に思いついたのが「のりかえ便利マップ」でした。

久野 それをもとに今の会社を作られたんですね。

福井 「のりかえ便利マップ」は29歳のときに考えたんですけど、一生それを越えられないと思います。

久野 お母様方の間でも有名だったんですか? 福井さんは面白い人よ、みたいな。

福井 いや、有名じゃないです。ずっと発明していることを隠していましたから。もともと、動いているのが好きなんです。実家が旅館で、働いている母の背中をずっと見てきたので。それで初めて家庭に入って子育てで、すごく暇だと感じてしまつて。

久野 子育てだって忙しいじゃないですか。二人もいらつしやうって、1歳と3歳ってまだまだ全然手がかかるのに、どこにその余裕があるのかなって。私も母親が働いている人間だったので、福井さんの働き方はすごく理想的でかつこいと思えます!

福井 いえいえ。たまたま私は「のりかえ便利マップ

こんな工夫しています

上が現在のデザイン。下がかつてのデザイン。現在のデザインでは路線記号(C)を大きく掲載。またヘッダー部分、車両は7部分に行先(進行方向)が直感的にわかるように矢印のイメージをつけた。また下車車両に紐づいた出口のランドマークを増加及び背景を黄色で色付けするなど、視覚的にもわかりやすいように工夫している。



見やすさを考慮しながらデザイン、案内情報ともに毎年少しずつ改良が加えられている。